

Guide Book Junior Red Cross

青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター ガイドブック

中学生



J. Henry Dumas



ちかひ
わたくしは
青少年赤十字の員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます



リーダーシップ・
トレーニング・センター
ガイドブック

中学生

Guide
Book
Junior Red Cross

目次

04	1 輝いているかな?あなたの瞳
09	2 トレーニング・センターの生活
11	① ボランティア・サービス(V・S)
20	② ホームルーム
21	③ ホームルーム連絡会議
22	④ 朝のつどい
22	⑤ 先見
	・ 掲示板
	・ 健康調査
24	3 トレーニング・センターの学習
24	① 自分を紹介する
25	② 「リーダー」ってどういう人のことでしょうか?
26	③ 赤十字や青少年赤十字って何のこと?
27	④ アンリー・デュナンと私
29	⑤ デュナンの考えから生まれたこと
32	⑥ 求められています。あなたの力!
33	⑦ 活動計画案をつくってみよう
35	4 新しい出発にあたって
36	〔資料〕 話し合いを効果的に進める方法
38	旗の掲揚のしかた
40	フィールドワーク(F・W)
42	空は世界へ
43	青少年赤十字の歌

私たちの青少年赤十字 —— 実践目標 ——

1.健康・安全

生命と健康を大切にする。

生命の大切さを考え、自分の健康からみんなの健康へと活動をおし進める。



2.奉 仕

人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する。

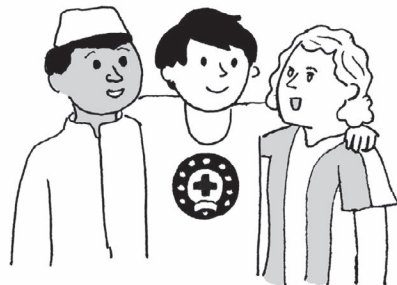
社会の一員として生活する私たちは、互いに助け合い、協力し合う心が必要です。そこに奉仕の精神が生まれてきます。



3.国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

私たちの生活は、国際的なかかわりを抜きにしては、考えられません。また、外国のことを知ることは、自分自身を知ることにもつながります。



1

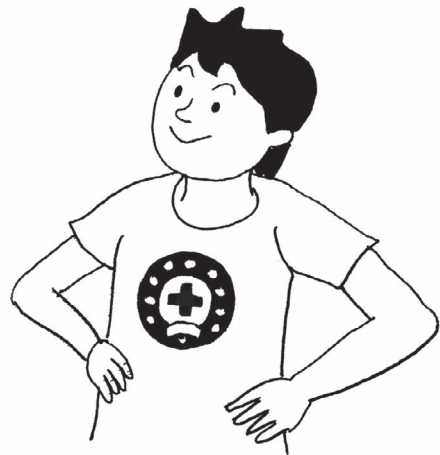
輝いているかな？ あなたの瞳

今までで一番「楽しかったなあ」と思ったことは何ですか？

- ・小学校の修学旅行でみんなで枕投げをして遊んだこと？
- ・そして先生にあとで怒られたこと？
- ・テストで一番になったこと？

今までにいろいろな楽しいことがあったと思います。また、「今まで楽しいことなんて一度もなかったよ」という人もいるかもしれませんね。

いろいろな人達がこのトレーニング・センターに集まって来ましたが、みんなの瞳、今輝いているかな？



自信がない？

でもだいじょうぶ、このトレーニング・センターが終わる時、あなたの瞳はきっと輝いているよ。

なぜか？

それはね、このトレーニング・センターであなたには次のことができる可能性があるからです。

自分の考えで行動できる

自分で思ったこと、考えたことを実現できます。

自分について考えるきっかけができる

自分はどのような人間だろうか、あらためて考えることができます。

多くの友達に出会える

ここに集まっているのはみんな青少年赤十字の仲間、出会った多くの友達の中から親友ができるかもしれません。

これらのことがみんなできたら、なんて楽しいだろうね。
あなた次第で、これがみんなできるんだ。

さあ、青少年赤十字(JRC)
リーダーシップ・
トレーニング・センター
の始まりだ！



心臓の鼓動、聞いたことあるかな？

胸に手をあててみよう。心臓の鼓動が伝わってくるよね。この心臓はあなたが生まれたときから、まったく休むことなく、動いているんだよ。

そう、あなたが一生懸命生きてきた証拠だね。そして、これからも動き続けるあなたの心臓、そうこれからもずっとあなたと一緒に動き続けるんだ。



100メートル競争のまえの時のようにあなたが興奮すれば、早鐘のようにドキドキなるし、ゆったり心落ち着いているときには、ドクンドクンとゆっくりになる。

あなたがあなた自身の体を使って、これからどう生きるか。決めるのはあなたなんだ。

だれのものでもない、あなた自身の人生だもの。



トレーニング・センター参加者のあなたへ

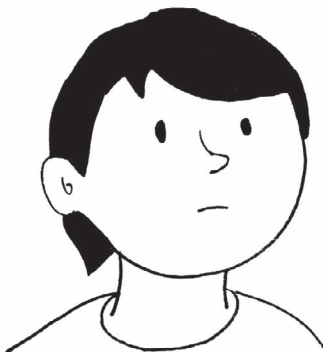
2

人の命ってちっぽけなもの？

あなたの心臓が一生懸命動いているように、クラス、学校の、そしてこのトレーニング・センターに集まってきた一人ひとりの心臓がみんな休みなく動いている。

人間ばかりでなく、動物の心臓だってみんな動いている。みんな一生懸命生きている証拠なんだ。あなたが生まれるときのこと、お父さんやお母さんに聞いたことがあるかな？

あなたが生まれ出るまでにお父さんやお母さんがどんな思いでいたか、聞いたことがあるかな？ あなたが中学生になるまでにどんな大変なことがあったか、聞いたことがあるかな？



人の命って大変貴重なものだし、偉大だね。一人ひとりにこのすばらしい命がある。あなたの命が大切なものと同じように、他の一人ひとりの命もみんな同じように大切なんだ。

この大切な一つ一つの命、どうやったら守っていけるか、このトレーニング・センターの間に考えてみよう。

トレーニング・センター参加者のあなたへ

3

本当に楽しいってどういうこと？

みんなで楽しく騒いだあとで一人になって、何だかわからないけど、ふっとさびしく感じたことはない？

あんなに楽しかったはずなのに終わってみるとなにも残っていない、一体何がおもしろかったんだろうって感じたことはない？

終わったとき、心からよくできた、充実していたって感じたときはどういう時？

きっと、それをやっているときは苦しくって、早く終わればって思いながらやっていた時じゃないかな。また、あなた一人のためじゃなく、クラスや学校や近所の人たちのためにもなることだったんじゃないだろうか。



あなたの
今の一番の望みは何？

- ・お金？
- ・成績が上がること？

確かにお金がいっぱいあって、成績が上がればうれしいよね。

でもそれだけでいいんだろうか？

それで本当に楽しい？本当にしあわせ？

2

トレーニング・センターの生活

トレーニング・センターの生活はどのようなことをするのでしょうか？生活の内容にふれる前に、どのような心構えでトレーニング・センターに取り組んだらよいか、アドバイスします。

“これがポイント”その1

1 自分で考え行動する

トレーニング・センターでは学校のようにチャイムは鳴りませんし、先生が号令をかけることもありません。自分で考えて行動するのです。ですから、自分から動こうとしなければ何も始まらないのです。言い換えれば、参加者の一人ひとりが主役なのです。そう、あなた自身が主役なのです。



“これがポイント”その2

2 すべてに注意深く

自分で考えて行動するためには、情報をキャッチすることが大切です。

そのためには、

- ・時計や掲示板をよく見る
- ・人の話をよく聞く
- ・まわりのようすに気を配る

これらのことが大切です。



キャッチした情報は書きとめておきましょう。

自分で感じたことや、考えたことも、いっしょに書いておくと、あとで見直した時によくわかります。

“これがポイント” その3

3 自分の考えを持つ

今まで他の人のあとにばかりついていたり、みんなと少しでも違うことがこわくてできなかったなんてことはありませんでしたか。

自分で考えて「こうした方がいいな」と思ったら積極的に自分から行動してみてください。また、自分の考えを持つためには「これでいいのかな?」「他に何か方法はないかな?」といつも考える習慣をつけることが大切です。

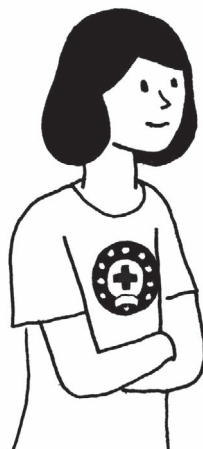


“これがポイント” その4

4 自分を生かす

いくら自分が主役と言っても、好き勝手に何でもして良いということではありません。そんな暴君がたくさん出てきたら、その集団はメチャクチャになってしまいます。あなたの存在が、あなたの行動が、みんなを明るくする。みんなを楽しくする。

そんなふうにあなた自身を生かして下さい。そんなあなた自身を生かすための行動を「ボランティア・サービス」と呼んでいます。



1 ボランティア・サービス(V・S)

(1) ボランティア・サービスとは？

トレーニング・センターでは、いろいろな人がいっしょに生活をします。いっしょに学習や食事や宿泊をするので困ったこともできます。その困ったことを自分達で解決するため、今の生活をよりよくするために、だれから命じられることもなく、自ら進んで周囲の人のために自分を生かすことが、ボランティア・サービスです。

まず、このトレーニング・センターの中でどうしたらそのようなことができるか、考えてみて下さい。

- あなたか友達が何か困ったことはありませんでしたか。
- どんなことをすれば自分や友達がより楽しくなったり、助かったり、楽になるでしょうか。
(問題や今求められていることを発見します)



- どのような解決策や方法があるかを考えます。



- ボランティア・サービス・ノート(「ボランティア・サービスカード」を綴ったもの)に記入し、先生に相談してから実行します。



- 終わってから感想や反省すべき点などを記入し、次のボランティア・サービスへの参考とします。

(2) ボランティア・サービス・ノートの使い方

ア. このノートは自分の頭の中を整理するためのものです。

いつでも気づいた時に、書きこみながら、自分の考えをまとめます。

イ. 実行する前に必ずホームルームの先生にノートを見せて相談します。

ウ. 実行にあたって、ホームルームの先生から実行方法について相談に応じてくれる先生を指定されたら、その先生の所へ行ってさらに具体的に相談します。

エ. いっしょにボランティア・サービスをしてくれる人が必要な時には、積極的に、掲示板を利用して協力者を探して下さい。

オ. ボランティア・サービスは決められた時間だけでなく、日程の中で自由時間を利用して行うこともできます。



ボランティア・サービスはトレーニング・センターの時だけ行うことではないんだ。家でも学校でも町の中にも、あなたの行動が求められていることがたくさんあると思うよ。いろいろな場面であなたの力が生かされるんじゃないかな。

ボランティア・サービス・ノート HR() 名前()

月		日	時	分	No.
困ったこと 生活をよりよ くすること [問題や今求め られているこ との発見]					
このよう 生活をして困 ったことを解 決したり 生活をよりよ くします	いつ				
	どのようにして				
() 先生の所へ () の時間に相談に行きましょう。					
感想 反省					

ボランティア・サービス・ノート HR() 名前()

月 日 時 分 No.	
困ったこと 生活をよりよ くすること [問題や今求め られているこ との発見]	
この よう に して 困 っ た こ と を 解 決 し た り 生 活 を よ り よ く し ま す	い つ ど の よ う に し て
() 先生の所へ () の時間に相談に行きましょう。	
感 想 反 省	

ボランティア・サービス・ノート

HR() 名前()

月		日	時	分	No.
困ったこと 生活をよりよ くすること [問題や今求め られているこ との発見]					
この よう に して 困 っ た こ と を 解 決 し た り 生 活 を よ り よ く し ま す	いつ				
	どのようにして				
() 先生の所へ () の時間に相談に行きましょう。					
感 想 反 省					

ボランティア・サービス・ノート HR() 名前()

月		日	時	分	No.
困ったこと 生活をよりよ くすること [問題や今求め られているこ との発見]					
このよう 生活をして 困ったこと を解決した り 生活をより よくします	いつ				
	どのようにして				
() 先生の所へ () の時間に相談に行きましょう。					
感想 反省					

2 ホームルーム

ホームルームでは、その日のプログラムの中で感じたことや考えたこと、疑問や反省などを自由に話しあいます。友達のことを本当に理解しようと思ったら、まず自分から素直な気持ちになって話をしてみましょう。何でも気軽に話しあえるようになるためには、相手のことを思いやりながら、お互いに打ちとけた雰囲気をつくりだすことが大切です。

また、何か困ったことがでてきたら、まず自分で解決できるかどうか考えてみてください。もし個人やホームルームでは解決できず、全体で調整する必要があると思われることがでてきたら、ホームルーム連絡会議に提出します。



ホームルームの進め方

1. ホームルーム連絡員と記録者を選出します。
2. 一日の生活をふり返りながら自由に話しあいます。
3. ホームルーム連絡会議へ提出すべきことがあるかどうか話しあいます。
4. 記録者は話しあいの内容を記録します。
5. ボランタリー・サービス・ノートを提出します。

ホームルーム 連絡員の役割

- ホームルームの司会進行をする。
- ホームルーム連絡会議に出席する。
- 日直や他の連絡員と協力して、一日の集団生活をスムーズに進める。(連絡員は次の日のホームルームで交替します。)

3 ホームルーム連絡会議

生活上、特に全体にかかわることで調整を必要とする問題について話し合います。

ただし、ここで何かを決定し、それによって全体を動かすような機関ではありません。ホームルームのメンバーの意向を伝達するとともに他のホームルームの意向をここで聞くところなのです。「個人やホームルームで解決できるような問題はここには持ち出さない」ことが原則です。



進め方

1. 日直を選出します。
2. 各ホームルームから連絡調整の必要のあることがらを発表しあいます。
3. 必要な調整を行います。その日に解決できないことはホームルームに持ち帰って検討します。

日直の役割

- ホームルーム連絡会議の司会進行をする。
- 他の連絡員と協力して、一日をスムーズに進行する。
- 本部との必要な連絡を行う。

4 朝のつどい

人が集まる場所には輪があり、笑いがあり、楽しさがあります。

さわやかな朝、すがすがしい朝の空気を胸いっぱい吸って身も心もさわやかに目ざめていますか？

青少年赤十字のメンバーとして今日も一日豊かな気持ちで過ごせるように青少年赤十字の旗をあげたり、歌をうたったりします。

また、簡単なレクリエーションや体操などを工夫しておりこめば、一日のスタートをきるための楽しいひとときをつくりだすことができるでしょう。



5 先見

いつ、どんな事態に直面しても、これに対処できるよう日頃から備えておくことが大切です。自分が何を学び、どのように行動していくかを自分で考えます。しかし、集団生活の中ではとかく自分を見失いがちになります。自分自身を取り戻すため、静かに自分と取り組み今日一日への心構えをします。

日頃からメモを取る習慣を身につけ、気づいたこと、思いついたことを書きとめておき、この時間に整理しながら、自分の考えをまとめていくとよいでしょう。

掲示板

緊急なことを除いて、参加者への連絡は掲示板を使って伝えられます。放送などによる伝達は聞き違えることもありますし、関係のない人には、わずらわしくさえ感じます。掲示板を使って伝えることにより、参加者一人ひとりがおちついて注意深い生活をし、自主的な行動を心がけられるようにします。

掲示板は単なる伝言板以上に参加者にとって大切な情報の場です。毎日数回時間を決めて見るくせをつけ、自分に関係ある情報をキャッチしましょう。そして大切なことは必ずメモをとるようにしましょう。同時に参加者へ伝えたいことがあれば大いに活用できます。

健康調査

トレーニング・センターでは、ふだんと違った環境の中で、初めて会う人たちと集団生活をします。

慣れない生活から体調をくずして病気になったり、うわついた気分が思わぬケガをまねくことにもなるのです。

一人ひとりが自分の健康をチェックするために「健康調査カード」に記入します。もしも、途中で気分が悪くなったり、ケガをしたら、どんな小さなことでも必ず先生に申し出ます。

また、仲間の中にこのようなことが起こっていないか、まわりを思いやることも大切です。

健康調査カード

月 日 ホームルーム

名前:

朝食は よく食べた 少し残した
半分以上残した

昨日は よくねむれた 少しねむれなかった
ほとんどねむれなかった

体調は 快調 ふつう だるい

気分は そうかい ふつう 良くない

用便は あった なかった(日目)

下痢を していない している(日頃から)

(注) ●あてはまるものを○でかこんでください。
●異常のある場合は、そのことを用紙のあい
ているところを書くとともに早めにスタッ
フに連絡すること。

3

トレーニング・センターの学習

1

自分を紹介する

“私はこんな人間です”

最初のホームルームでは自己紹介がありますが、自分について簡単に紹介することはむずかしいものです。次のようなことについて話してみたらいかがでしょう。

1. あなたが一番大事にしているものは何ですか？
2. あなたの一番好きな人はだれですか？
3. 自分の性格で好きな所ときらいな所はどんな所ですか？
4. 将来どんな人間になりたいと思いますか？



2 「リーダー」ってどういう人のことでしょうか？

この「トレーニング・センター」は、時々「トレセン」、「LTC」や「TC」と呼ばれることもありますが、これらはみな「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」の略です。

「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」は、青少年赤十字のリーダーとして必要な知識や技術を身に付け、各学校の青少年赤十字活動を進めていく力となれるよう、みずから学ぶところです。それがリーダーシップを身に付けることになるのです。

みんなを引っ張っていく人間を「リーダー」と呼ぶことが多いのですが、なにもリーダーが全部やらなければいけないわけではありません。その場その場によっていろいろな人がリーダーになり、みんなで協力して活動を進めることが大切です。

ですから、みんながついてこないといって、わめいたり、愚痴を言ったり、いばってばかりいる人がリーダーではありません。それでは、本当のリーダーってどういう人のことでしょうか？

それも青少年赤十字のリーダーって？



3 赤十字や青少年赤十字って何のこと？

青少年赤十字は「JRC」と呼ばれることもありますが、JRCは Junior Red Cross の略です。外国では「Red Cross Youth(RCY)」と呼ばれることもあります。

それでは青少年赤十字とはいったい何のことでしょうか？「うーん、そんなこと考えたこともなかったな」なんて言う人も多いかもしれませんね。

では「赤十字」については何か知ってますか？「赤十字のマーク」は「赤十字の病院や血液センターのしるし」として知られていますが、他にどういう意味があるか知ってますか？このトレーニング・センターの期間中に考えてみてください。

また、「青少年赤十字」についても知らない人に説明するとしたらどういうふうに説明したらよいか、みんなで話しあってみてください。



4 アンリー・デュナンと私

アンリー・デュナンは赤十字の創立者です。彼の行動の中から私たちは人間として学ぶべきものを多く見いだすことができます。青少年赤十字のリーダーにとって大切なものは心です。その心を彼から学びましょう。

アンリー・デュナンは何をしたのか。

アンリー・デュナンがしたことを、わかるかぎり下の欄に書き出してみましょう。
書き出しながら彼が一番大切だと思っていたことは何か考えてみましょう。

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

アンリー・デュナンが大切だと思ったことは何ですか？

あなたは どう 思いますか？ アンリー・デュナンの 生き方

あなたはアンリー・デュナンのしたこと、どう思いましたか？ 自分もそうしたいと思いましたが？ それとも気持ちは良くわかるがとてもまねできないと思いましたが？

あなたがもし彼の立場だったら、どうしますか？それはなぜですか？

(ア)カスティリオーネで....

(イ)その後は....

5 デュナンの考えから生まれたこと

「ソルフェリーノの思い出」から



デュナンの北イタリアでの救護活動



著作「ソルフェリーノの思い出」でデュナンが訴えた2つのことは？

1. _____
2. _____



デュナンの考えを実現するために「五人委員会」ができた。

これらの努力から

各国赤十字社の設立

2024年4月現在191社

最初のジュネーブ条約の成立 (後に改正され「陸戦の条約」となる)

ジュネーブ条約の原則を海戦に応用する
「海戦の条約」が加わる

捕虜の待遇に関する
「捕虜の条約」が加わる

戦時における文民の保護に関する
「文民の条約」が加わる

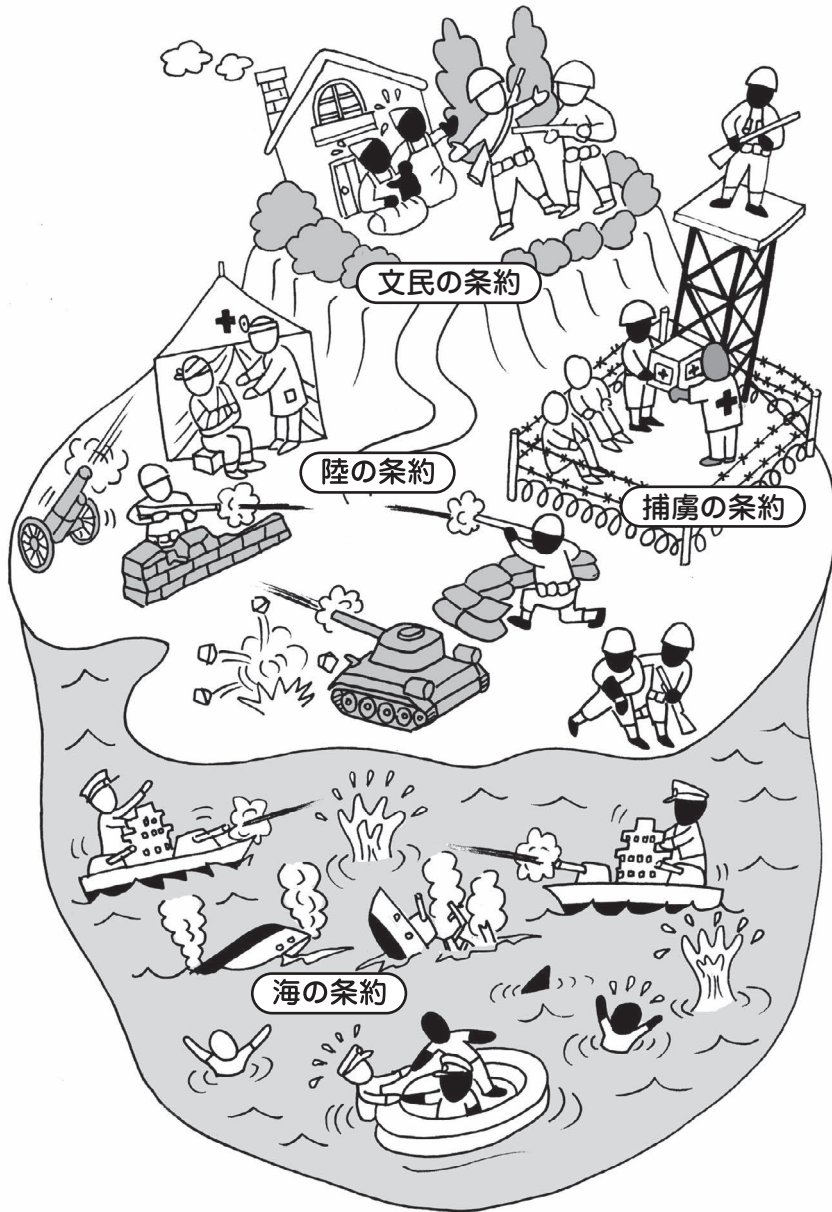
ジュネーブ諸条約とは？

ジュネーブ諸条約ができるまえ、戦争のときに敵を助けるなどということは、まれに行われることはあっても、普通はあまり考えられないことでした。その当時の常識を超えるようなことをまずデュナンが行動で示しました。そして、その体験を「ソルフェリーノの思い出」という本にまとめ、2つの提案をしました。この提案がもとになってできたのが「戦場で負傷した兵士を敵味方の区別なく救護するための民間の団体＝赤十字」であり、この団体が戦場で安全に活動できるように各国間の条約として生まれたのが「ジュネーブ諸条約」でした。この最初のジュネーブ条約のなかで、「白地に赤の十字のマーク」をつけた看護人や建物などは中立とみなし、保護されなければならないことが初めて決められたのです。

傷ついた兵士や捕虜となった兵士、一般の人々の命をいかに守っていくか、このことを実現するため、ジュネーブ諸条約は何回も改正されてきました。守るべき人々の範囲を考えると、できるだけ広く、できるだけ具体的な細かい取り決めが必要となったからです。

現在では、「陸戦の条約」「海戦の条約」「捕虜の条約」「文民の条約」の4つのジュネーブ条約と3つの追加議定書がありますが、ジュネーブ諸条約で言っているのは、「傷ついた兵士や武器を捨てて降伏した兵士はもはや兵士ではなく、ただの人間である。だからその人間を殺す権利はだれにもない。また戦闘に参加していない文民（一般市民のこと）を殺すことも許されない」ということです。そして、人の命の大切さやその取り決めを守っていくことが、いかに重要なことであるかということです。

4つのジュネーブ諸条約



6

求められています。あなたの力!

これまでこのトレーニング・センターの中で、どのようにあなた自身を生かすかをボランティア・サービスで、またアンリー・デュナンの生き方や赤十字がどのように発展してきたか、を学んできました。これらの中からこれからの生き方や活動について何かヒントになることがありましたか?あなたの家や学校でどんなことをしてみたいと思いますか。次の欄に記入してみてください。いろいろな場所であなたの行動が求められているかもしれませんよ。

	一人でできることは	みんなでできることは
君の学校でできること		
君の町でできること		
君の家でできること		

7 活動計画案をつくってみよう

皆さんが、何か活動を行おうとする場合、話しあいをしたり、計画をたててから始めますね。話しあいをする時にも具体的な計画をもとに話しあいをするとうスムーズに運びます。

この計画をたてるとき、大事なことは次の2点です。

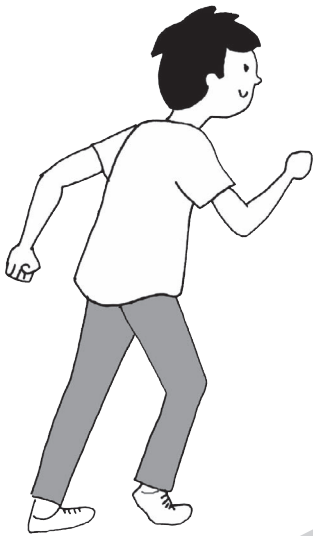
- 1.その活動が本当に他の人の役にたつことかどうか考えてみること
- 2.他の人が、その計画を見てもわかるようにできるだけ具体的な計画とすること

この具体的な計画案をつくることを「ワークショップ」と呼んでいます。このワークショップに取りくむ場合、1人で1つのワークショップに取りくむ（「1人1作のワークショップ」と言います）場合と共同で1つのワークショップに取りくむ場合があります。「1人1作」の場合には、自分がその計画についてどれだけ深く理解できていたかがわかりますから、準備不足な点、考えがあいまいだった点を自分で考え直すことができます。また、自分がつくった計画を実現させたいという活動に対する意欲も生まれてくると思います。また、同じ学校から参加したメンバーが、トレーニング・センター終了後、共同して実行できるような場合には、共同でワーク・ショップを行うこともできます。



活動計画案をつくる時の整理の方法

計画案をつくる時よく用いられるのが5W1Hの表現方法です。この方法を用いると考えがよく整理でき、具体的な計画をつくることができます。



目標

How

どのようにそれをするのか

Where

どこでそれをするのか

When

いつそれをするのか

Who

だれがそれをするのか

What

なにをするのか

Why

なぜそれをするのか

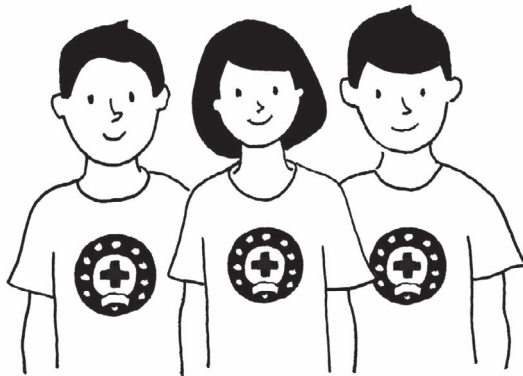
準備するものは？
 方法は？
 どのような順番で？
 など

4

新しい出発にあたって

もうトレーニング・センターもそろそろ終わり。このトレーニング・センターで考えたことを各自が自分でまとめる時期にきています。まとめの一つの方法として次のことを考えてみてください。

- 1 最も印象に残ったことは何？
- 2 あなたが学んだ最も大きなものは何？
- 3 このトレーニング・センターの経験をこれからどのように生かしていこうと思いますか？



あなたの瞳、輝いてきたかな？またいろいろと悩んだりするようなことがあったら、このトレーニング・センターを思い出して下さいね。
きっといろいろな人達が手をかしてくれますよ。

資料

話し合いを効果的に進める方法

ホームルームやグループ討議での話し合いは、それぞれに目的があります。話し合いを効果的に進めるために参加者は次のことを心がけて積極的に話し合いに加わるようにしましょう。

発言する

当然のことですが、これが一番大切なことです。ところが、グループの中にいるとこれが一番難しいことでもあります。限られた人ばかりが発言して、あとの人たちは黙って聞いているということはよくあることです。

発言することは参加者の義務だと考えましょう。たとえ同じ意見でも発言することが大切で、同じ意見を持っていることの表明となります。また、発言が多くなりがちなのは、他の人のことを思いやるということも心がけましょう。ひとりで長々と演説したり、わき道にそれたり、無責任な思いつきを言わないように注意することも大切です。

1



上手な話し方

- 短く、要領よく
- 具体的に
- 自分の言葉でわかりやすく
- 言いたいことをまずメモにまとめて
- 姿勢を正し、視線を相手に合わせて
- 表情を明るく豊かに
- 良く理解してもらおうとする心遣いを持って

他人の意見をよく聞く

言葉じりやうわべだけをとらえるのではなく、その人がどんなことを考え、何を一番言いたいのかを相手の身になって聞き、理解しようとする姿勢が聞き手にとって大切なことです。同時に人が出した意見に対して自分はどう思うかを考え、自分の意見を出すことが必要となります。ただし、人の話は終わりまで聞くこと。途中でさえぎって自分が発言するというようなことはしないようにします。

2



上手な聞き方

- 適度なあいづち
- 内容を頭の中で整理しながら
- 質問や意見を用意して
- 姿勢を正し、視線を相手に合わせて
- 表情を明るく豊かに
- 良く聞こうとする心遣いを持って

資料

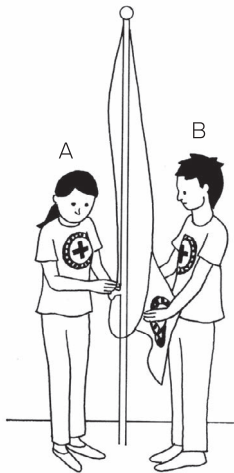
旗の掲揚のしかた

旗はその団体のシンボルとしても意味を持つものなので、大切に

1

2人であがるのが普通で、ポールに向かってAが左、Bが右にならび、Bが旗をもち、Aがロープを綱止めからはずし、2人でロープに旗をつけます。この場合、決して旗のはしが地面を引きずることのないよう気をつけます。また、ポールに向って右側のロープに旗をつけ、旗がついたら、Aは余分のロープを綱止めにまき、Bはロープに旗をはさんで広がらないようにしておきます。

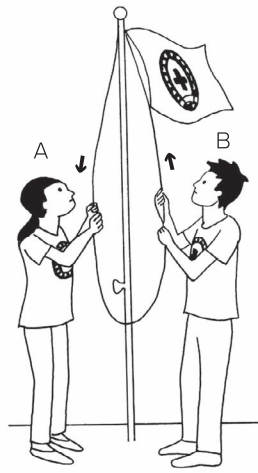
このようにあらかじめ用意をしてから、掲揚の合図を待ちます。



- 旗のはしが地面を引きずることのないよう気をつけます。
- あらかじめ用意をしてから、掲揚の合図を待ちます。

2

合図があったらポール前に2人がならび、Aがロープをほどき、綱がからまっていないか確かめてから、引き綱をAが、旗のついている上げ綱をBがもって立ちます。音楽や歌に合わせて掲揚する時はここで音楽または歌を始め、終わるまでに上の滑車にとどくよう同じ速度であげます。途中で速度が速くなったり遅くなったりしないよう気をつけましょう。音楽が終わっても旗が上の滑車にとどかないことがないように、旗のあがる速度を調節します。Bは旗がロープにからまないよう気をつけ、なるべくポールに添って旗があがるように注意します。



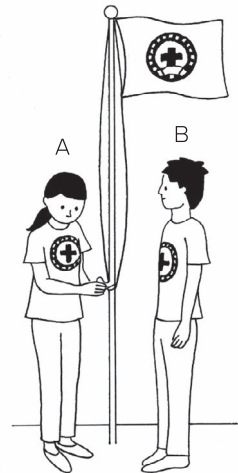
- 旗をあがる時の速度に注意しましょう。
- 旗がロープにからまないよう気をつけ、ポールにそって旗をあげましょう。

3

あげ終わったら、Aは引き綱を綱止めに2、3回巻きつけてから、Bの上げ綱といっしょに8の字に綱止めにまきます。このようにすると強い風の時も半旗(注)にならずにすみます。

(注)

半旗というのは、弔意をあらわす旗のあげ方で、ポールの先端の竿頭(玉)から20cmほど旗をさげて掲げることです。

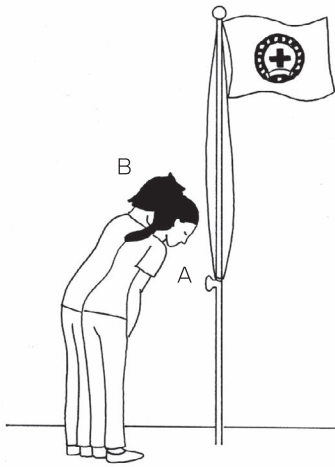


- まず引き綱をとめてから、上げ綱とともに8の字に綱止めにまきます。
- 半旗にならないようにきちんと綱をとめましょう。

扱うよう心がけましょう。

4

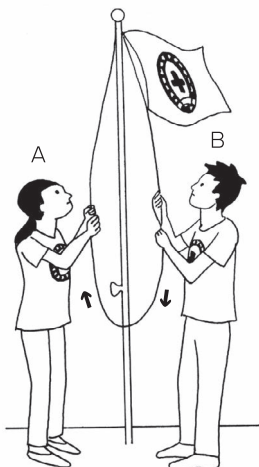
AとBはならんで、旗に対し、一礼をしてもとの位置にかえります。



- 一礼をしてもとのところへかえります。

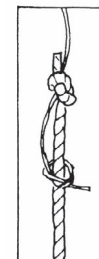
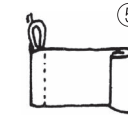
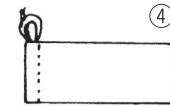
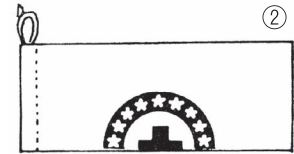
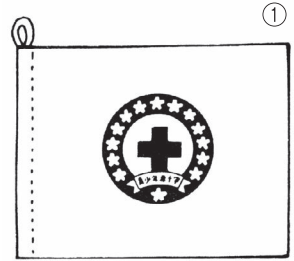
5

旗をおろす時は、Aが綱止めからロープをほどき、2人がロープをもって、Bがロープを引いておろします。旗がおりた時、地面にひきずらないよう注意し、旗を2人ではずし、Aがロープを綱止めに固くまいてとめます。旗をきちんとたたみ、保管場所に保管します。

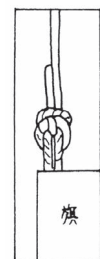


- 旗をおろした時も旗が地面に引きずることのないように気をつけましょう。
- 旗はきちんとたたんで保管しましょう。

旗のたたみ方



← 旗の下部ロープのつなぎ方



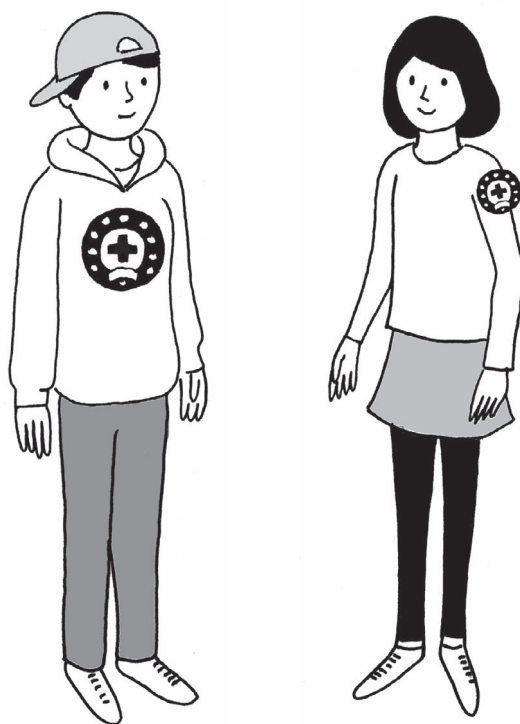
← 旗の上部ロープのつなぎ方

資料



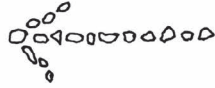

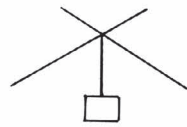



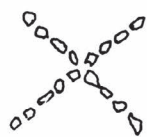


フィールドワーク(F・W)

フィールドワークは野外におけるプログラムの一つです。参加者が小グループに分かれて、きめられた指示(ルール)に従い、一定のコースをグループごとに行動します。フィールドワークの中には、トレーニング・センターで学んだり、体験したりした各種の知識・技術を野外において復習する意味が含まれています。豊かな自然に親しみながら思う存分澄んだ空気と自然を育てる大地の感触を味わってみてください。

フィールドワークの時の 服装の例



フィールドワークサイン サインのそばに赤十字マーク・日付をつける。

<p>矢印の 方向へ進め</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>チョークで道ばたの電柱、石、木のかぶに、注意ぶかく小さくかく。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>枯れ枝で矢印を作り、車や他の通行人に、こわされないように置く。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小石を並べる</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ケルンを積む</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>危険近づくな</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木に枯れ枝をかける</p> </div> </div>
<p>この道では ない。 ほかの道の サインをさ がせ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>チョーク等で×をかく</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小枝を×に組む</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小石を並べる</p> </div> </div>
<p>この方向 ○○メート ルに手紙が ある</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">5 M</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">→</div> <div style="text-align: center;"> <p>道ばたの動かない石、または木のかぶにハッキリかく</p> </div> </div>
<p>その他の サイン</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>目的地が遠い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>目的地が近い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: 60px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 5 分 </div> <p>休憩5分</p> </div> </div>

空は世界へ

そーらは せかいへ つづいてる

そーらは せかいを だいている みんな

ごらんよ あのーそらーをー

そーらが ぼくらの わたしらの ところよ

ところよ しょうねん せきじゅう じー

空は世界へ

杉江健次 作詞
 杉江健介 作曲
 橋本国彦 作曲

- 一、空は世界へ つづいてる
 空は世界を だいている
 みんなごらんよ あの空を
 空が僕らの 私らの
 ところよ心よ 少年赤十字
- 二、花はだれにも 匂ってる
 花はやさしく 匂ってる
 みんなごらんよ あの花を
 花が 僕らの 私らの
 すがたよ姿よ 少年赤十字
- 三、星はどこでも 光ってる
 星は伸よく 光ってる
 みんなごらんよ あのを
 星が 僕らの 私らの
 ほこりよ誇りよ 少年赤十字
- 四、旗は十字の 愛の旗
 旗はかがやく 愛の旗
 みんなごらんよ あのを
 旗が 僕らの 私らの
 しるしよしるしよ 少年赤十字

青少年赤十字の歌

あけそめる おおぞらに みなぎるひかり あふれるいのち
 われらわ こうど - われら わ こうど - け
 ん こうのあ しなみそろ え すすむのだから やくみちを
 ひとす じ - に かが や くみ ち - を -

青少年赤十字の歌

田中進兵衛 作詞
 山田 耕筈 作曲

一、明けそめる 大空に

みなぎる光 あふれるいのち
 われら若人^{わかひと} われら若人
 健康の足並そろえ
 進むのだから かがやく途^{みち}を
 ひとすじに かがやく途を

二、さしのべる手を 組んで

あわせる力 つらぬくまこと
 われら若人 われら若人
 清純の ちかいにこそぞり
 尽くすのだ 世界のために
 人のため 世界のために

三、海こえて へだてなく

呼び合う心 ゆき交うこだま
 われら若人 われら若人
 親善の 結びもかたく
 仰ぐのだ 十字の旗を
 ひるがえる 十字の旗を

MEMO

青少年赤十字
リーダーシップ・トレーニング・センター
ガイドブック中学生

平成2年6月25日 初版発行

令和6年8月1日 12版5刷発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号

電話 03-3437-7083(ダイヤルイン)

FAX 03-3432-5507

ホームページ <https://www.jrc.or.jp>

発行所 株式会社日赤サービス

